



1958年12月1日創立 国際ロータリー 第2730地区

鹿児島南ロータリークラブ

2018-2019年度 国際ロータリーテーマ 「インスピレーションになろう」
2018-2019年度 RI第2730地区テーマ 「プラスワンの考動を！」

インスピレーションになるよう
2018-2019年度 クラブテーマ

「60周年原点にかえろう 出会いに感謝・奉仕に感謝・ロータリーに感謝」

姉妹クラブ: 台湾 高雄東 RC 友好クラブ: フィンランド ロヴァニエミ・サンタクロス RC ドイツ カールスシュタット・アインシュタイン RC 宮城県多賀市 多賀城 RC
会長: 内田 修友 会長エレクト: 中村 佐知子 会長ノミニ: 幹事: 福山 智子

2018-2019年度 RI会長 バリー・ラシン
2018-2019年度 第2730地区ガバナー 川原篤雄(鹿児島サザンウインドRC)
市内グループガバナー補佐 内倉 厚弘(鹿児島城西RC) 上田 耕平(鹿児島北RC)

週報

Vol.61 No.3

平成 30年 (2018年)

7月25日

【事務所】

〒890-0062 鹿児島市与次郎1丁目8-10
TEL:099(254)1117 FAX:099(254)1119
E-mail:south-rc@po.minc.ne.jp

【例会日】毎週水曜日 12:30~13:30

【例会場】サンロイヤルホテル



【第2894回例会】第3回クラブ協議会(決算報告・予算説明)

平成30年7月11日 第2893回例会

[点鐘] [ロータリーソング] それでこそロータリー

[本日のお食事] 100万ドルのお食事

[6月の出席率] 57.23%

メイクアップ者 25名で訂正出席率は 72.95%

[ロータリーの友紹介] 川窪会員

会長の時間

週末の豪雨災害は、西日本を中心に100人を超える多くの方がお亡くなりになり被災されました。被災された皆様には心よりお悔みとお見舞いを申し上げます。鹿児島でも8.6水害がありましたが、一瞬のできごとでした。このような集中豪雨は、いつ、どこで起きても不思議ではないですね。常に準備が必要だと思いました。早速、木脇社会奉仕委員長が義援金募金箱用意して下さいました。ご協力をよろしくお願い致します。

先週4日の夜、新旧委員長副委員長会が開催されました。19名の参加をいただきました。1年間ロータリー活動をするうえで大切なことはコミュニケーションです。膝を交えて皆さんといろいろ話ることができました。福岡会員の楽しいお話は中々終わらず受けました。古山会員が面白い話には「SAAが鐘を鳴らす」と言うと皆さん笑いました。会長挨拶で鐘を鳴らされないよう気をつけます。盛り上げて頂いた司会の福山幹事に感謝申し上げます。

8月1日は納涼家族会です。田宮フェローシップ委員長が楽しい会になるよう準備されています。玉利会員、押井会員の演奏もあります。多数のご参加をお願い致します。

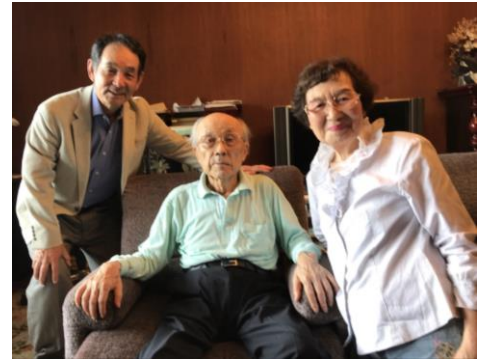
8月のプログラムでは、八木プログラム委員長が外部卓話2人準備してくださいました。22日はあぢもりの佐藤社長、29日は西郷隆夫氏(西郷隆盛のひ孫)の卓話です。楽しみにして頂きたいと思います。

12月1日の記念式典の件で、先日高雄東RCの劉志明国際奉仕委員長と電話で話しました。高雄東RCからの参加者はまだはっきりしていませんが、30名位になるのではとのことでした。

60周年に向かって着々と準備を進めています。まずはコミュニケーションを取って心をつなげていきたいと思います。そして遠くからお見えになるゲストを温かくお迎えしたいと思っています。ご協力をよろしくお願い致します。

60周年を迎えるにあたって南RCの歴史を知るという観点から佐々木PGの話をして頂きます。上菌前会長も話をされたと思いますが、6月27日佐々木PG宅にご挨拶に伺いました。佐々木PGは昭和3年生まれで今年90歳になられます。1994~1995年にガバナーをお務めになりました。当クラブから二人目のガバナーで、2004年佐々木PGの寄付金をもとに職業奉仕賞を創設されました。これまで25名の職業功労者を表彰しています。目立たない

ところで地道に長年自分の仕事を通じて社会貢献されている方を表彰するもので、受賞された方は皆さん大変喜んでいらっしゃいます。大変意義のある表彰だと思います。当クラブ職業奉仕活動に多大な貢献をされています。当クラブが60周年を迎えるにあたり佐々木PGのご功績は忘れてはならないと思います。佐々木PGは目と耳がご不自由ですが、声も大きく以前と変わらず理路整然と分かりやすくお話しをされました。奥様もお変わりなく若々しくされておりお元気でした。お孫さんが東大に入学されて大変喜んでおられて、成長を楽しみにしていらっしゃるご様子でした。佐々木PGは「目が見えなくなることは予測していたのでそこまで不自由は感じていないですよ」とおっしゃいました。人生90年いろんなことを乗り越えてこられ、人間の真の強さを見たような気がしました。



佐々木PGはサザンウインドRCの特別代表をされ設立時から会員の教育をされました。育ての親でいらっしゃいます。自分が育てたサザンウインドRCが大きく成長して今年度川原ガバナーを輩出されたことを大変喜んでいらっしゃいました。サザンウインドRCの会員が当時大変厳しく指導され、佐々木PGが怖かったと言っていました。佐々木PGは他クラブから入って来た人がいなかったのが良かったのだとも話していらっしゃいました。

以前大津篤造PGが理想のクラブを作りたいと鹿児島中央RCクラブをお作りになったと聞いています。佐々木PGも同じような思いでサザンウインドRCを熱心に指導されたのではと思っています。

佐々木PGは50周年記念誌の中でロータリーについて下記のようにおっしゃっています。入会当時、ロータリークラブは何の意味があるのか、どこに魅力があるのか、と思われたそうです。そしてクラブ会長、ガバナーまで経験されロータリーを知ること、ロータリーは魅力があるところ、楽しいところだというのが分かったとおっしゃっています。ロータリーというのは非常に温かい良い友情を育むことができること、良い友達は一生の宝だとおっしゃっています。

そして国際交流は他の団体で味わえないロータリーの魅力だとおっしゃっています。佐々木PGは最後に大事なことを一言おっしゃいました。「ロータリーは大事だけど自分の仕事が一番ですよ」と、肝に銘じておきたいと思います。60周年記念式典には是非と申し上げたのですが、出